

W i l l ウィル

枚方市男女共生フロアだより 令和3年(2021年)11月発行

◆11月12日から11月25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です◆



内閣府においては、11月12日から25日（女性に対する暴力撤廃国際日）までの2週間を、「女性に対する暴力をなくす運動」期間としています。

この運動の趣旨については、“夫・パートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題である。本来、暴力は、その対象の性別や加害者、被害者の間柄を問わず、決して許されるものではないが、暴力の現状や男女の置かれている我が国の社会構造の実態を直視するとき、特に女性に対する暴力について早急に対応する必要がある。この運動を一つの機会ととらえ、地方公共団体、女性団体その他の関係団体との連携、協力の下、社会の意識啓発

など、女性に対する暴力の問題に関する取組を一層強化することとする。また、女性に対する暴力の根底には、女性の人権の軽視があることから、女性の人権の尊重のための意識啓発や教育の充実を図ることとする。”としています。

令和3年度の運動においては、昨年度に引き続き、「性暴力を、なくそう」をテーマとして、広報・啓発活動を強化することとし、予防啓発の取組に加え、被害に遭った場合の相談窓口の周知を図るものとしています。期間中においては、ポスター、リーフレットの作成・配布、テレビ、ラジオ、インターネット等のメディアを利用したキャンペーン、パープル・ライトアップ等の広報活動など、様々な取り組みが実施されます。

枚方市においても、この期間を中心として、啓発ポスターの掲示、リーフレットの配架・配布とともに、今年度初めての取り組みとして、ニッペパーク岡東中央（岡東中央公園）にある平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）のパープル・ライトアップに取り組みます（3ページ記事参照）。

contents

- (1) ウィルコラム (2) 配偶者からの暴力の根っこにあるもの
(3) ヒラリヨンがパープルに染まります・・・ 図書紹介 (4) 講座・イベント案内

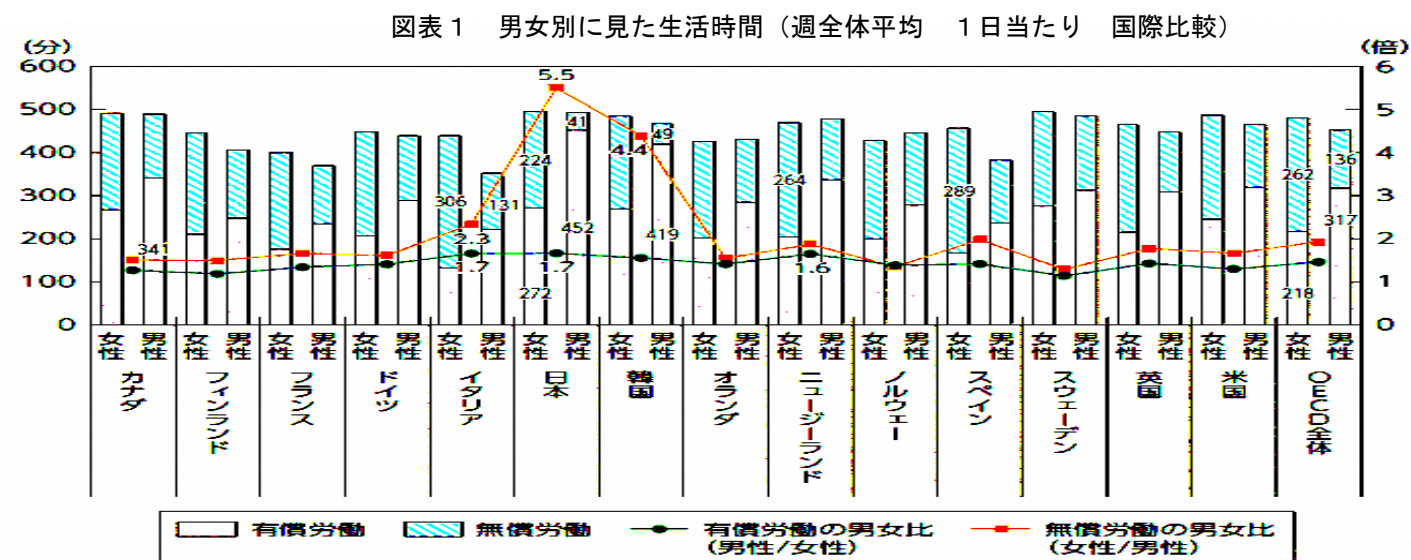
配偶者からの暴力の根っこにあるもの …… 「誰のおかげで生活できるんだ」

男女間における暴力に関する調査結果（令和3年3月 内閣府男女共同参画局）において、配偶者から何らかの被害を受けたとき、相手と「別れたいと思ったが、別れなかった」人に聞いたその理由については、「子どもがいる（妊娠した）から、子どものことを考えたから」の68.9%に次いで、「経済的な不安があったから」が41.0%と多くなっています。「経済的な不安があったから」と回答した人は、女性52.5%、男性5.8%と、男女の差が極端に大きいことが特徴です。

男女の経済格差を考えるにあたって、近年問題視されているのが、家事・育児・介護といった無償労働が女性に偏っていることです。OECD（経済協力開発機構）がまとめた生活時間の国際比較データ（図表1）によると、どの国も無償労働時間は女性の方が長く、特に日本は、女性が男性の5.5倍と突出しています。

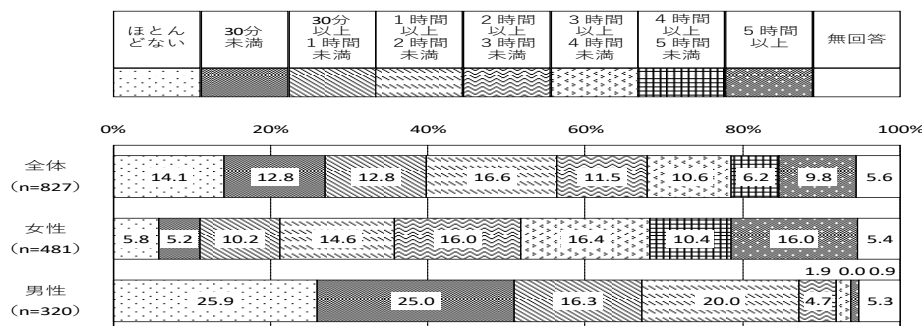
枚方市においても、男女共同参画に関する市民アンケート調査結果（図表2）によると、平日に家事に費やす時間が「30分未満（「ほとんどない」を含む。）」と回答した人は、女性11.0%、男性50.9%となっており、男女間に大きな差が見られました。

料理、洗濯、掃除、育児、介護といった家庭生活を営むための日々の仕事は、私たちの豊かな暮らしにとって欠かせない重要な労働です。一方で、無償労働という点からみると、女性への偏りは、女性の貧困や生きづらさにつながりかねず、家庭内の支配構造にも密接に関連するものだといえます。パートナーとの対等な関係づくりにおいて、無償労働を分かち合うといった視点も必要ではないでしょうか。



男女共同参画白書令和2年版（内閣府男女共同参画局） コラム1「生活時間の国際比較」より
OECD Balancing paid work, unpaid work and leisure (2020) をもとに、内閣府男女共同参画局にて作成。

図表2 家事（料理・洗濯・掃除・育児・介護など）に費やす平均時間（平日）



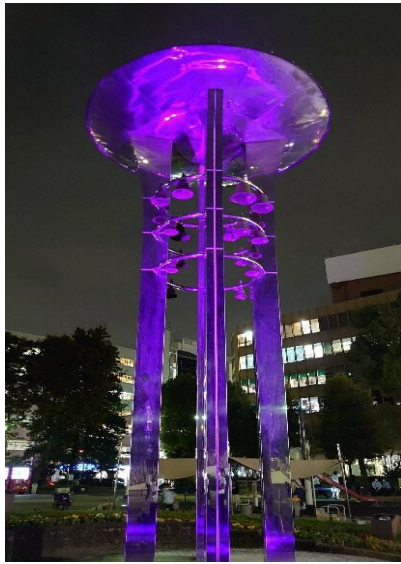
枚方市男女共同参画に関する市民アンケート調査結果報告書（令和2年3月）より

◆ウィル図書コーナーからおすすめします◆

『家事労働ハラスメント～生きづらさの根にあるもの』
竹信三恵子著
岩波新書

◆ ヒラリーがパープルに染まります・・

11月12日（金）、19日（金）、25日（木）いずれも午後6時～8時



紫のリボンを身に着けることで、あらゆる暴力に反対し、暴力の下に身を置いている人々に勇気を与えたいと願う「パープルリボン運動」・・今では、40か国以上に広がっています。

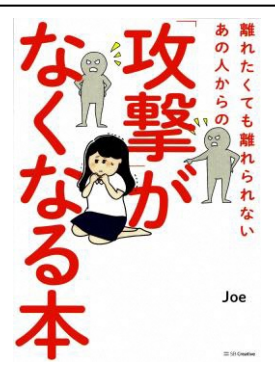
このことから、「パープル」は世界から暴力の被害をなくしていくためのシンボルカラーとなっています。

「女性に対する暴力をなくす運動」の期間、全国でパープルライトアップキャンペーンが展開され、大阪府では太陽の塔や天保山の大観覧車が紫色にライトアップされます。

枚方市では、ニッパーク岡東中央にある平和の鐘カリヨン「ヒラリー」が、宵闇の中、パープルの光に照らされ、性暴力根絶の願いと、被害者の方に向けては「1人で悩まず、まずは相談してください・・」というメッセージを伝えます。

新着図書ラインナップ

暴力に負けない・・もう被害者のままではいけない・・



『離れたくても離れられないあの人からの攻撃がなくなる本』

これ以上、誰にも振り回されたくないあなたへ。攻撃されるかどうかは、あなたが何をするかではなく、「どういう人間に見えるか」によって

決まる。これ以上他人にコントロールされないように、ハラスメントの被害を受けないためのメソッドを伝える。 大嶋 栄子／著

金剛出版 2019年



『赤ずきんとオオカミのトラウマ・ケア』

トラウマはなぜ苦しみを引き起こす？被害と加害はなぜ繰り返される？どうしたらラクになれる？赤ずきんとオオカミによる物語仕立てで、トラウマ記憶のしくみ、回復のプロセス、さまざまなアプロ

ーチを学んでいきます。セルフケアの方法、生きていくための多様なスキルを身に着け、自分を愛する心を取り戻す

〔心理教育〕の本。 白川美也子／著

アスク・ヒューマン・ケア出版 2016年

■DV相談窓口■

枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」

072-841-3134（専用電話） 平日 午前9時～午後5時30分

～「DVかもしれない」と思ったら、一人で悩まず相談してください～

・大阪府中央子ども家庭センター 072-828-0277（平日午前9時～午後5時45分）

・大阪府女性相談センター 06-6949-6022、06-6946-7890（平日午前9時～午後8時）

06-6946-7890（夜間・祝日）

・内閣府男女共同参画局 DV相談プラス 0120-279-889（24時間受付）



講座・イベント案内

入場無料
先着30人

夫の言い分 妻の言い分

このズレ どうしたらいいの？

check

夫婦関係、パートナー関係において、良かれと思って言ったことや、したことに対して、相手からはあなたが思っていた反応と違う反応が返ってくるってないですか？



この講座で



日常生活で起こりがちな認識のズレやモヤモヤについて振り返り、その対処方法方法を学びます。

12月9日(木)

午後1時30分～3時

サンプラザ生涯学習市民センター
5階 視聴覚室

講師 柳谷 和美 さん

おやこひろば桜梅桃李 心理カウンセラー

申込受付中

電話またはファクス、メールで枚方市男女共生フロア・ウィルにお申込みください。

保育
について

保育は先着5人
（生後6ヶ月～就学前児）
12月1日（水）までに要予約

日ごろの思いを語り合いませんか シングルマザーズ・カフェ

申し込みは
ウィルへ・・

交流会とあわせてミニ講座、笑いヨガ体験を実施します！

①12月4日（土） 午後2時～4時 子育てミニ講座付き

②令和4年（2022年）3月5日（土） 午後2時～4時 笑いヨガ体験付き

ウィルは女性も男性もいきいきと暮らせる社会づくりをめざす枚方市の拠点施設です

枚方市 男女共生フロア・ウィル

〒573-0032 枚方市岡東町12番3号 ひらかたサンプラザ3号館4階



TEL 072-843-5636 FAX 072-843-5637

E-mail jinken@city.hirakata.osaka.jp

業務時間 9:00～17:30（土日祝日、年末年始休所）

※ただし、火・木は20:00まで、第1土曜日は9:00～17:30まで受付

【女性相談のご案内 お問い合わせ申し込みはウィルへ】

電話相談（専用電話072-843-7860） 火曜日:15:00～20:00 水曜日:13:00～17:00 木曜日:10:00～15:00

面接相談（面談 要予約） 水曜日:13:00～16:10 木曜日:14:50～19:30 金曜日:10:00～15:00

法律相談（面談 要予約 1人1年度1回限り）第1土曜日・第4火曜日:10:20～12:50 第2金曜日:13:20～15:50 第3木曜日:17:20～19:50

【男性電話相談】（専用電話072-843-5730）第1土曜日:14:00～17:00 第4木曜日:18:00～20:00

【LGBT電話相談】（専用電話072-843-5730）第1木曜日:15:00～20:00

